

ゼミ活動報告

「平成 24 年度 クリスマス会兼忘年会」

小坂 陽平

12月20日、イルミネーションでにぎわう御堂筋沿い、心齋橋にて宮川ゼミのクリスマス会兼忘年会が行われました。パーティも本気、むしろパーティこそ本気という、宮川ゼミらしさがよく表れた会になりました。

プログラムは、30秒スピーチ大会、今年の10大ニュース、流行語大賞、出し物(2期生、3期生、1期生の順)という構成でした。

10大ニュースのコーナーでは、主にゼミ生の数々の醜態が暴露されていた印象があります。僕は三股野郎というレッテル貼りをされ、見事第3位にランクインしました。ただし全てがろくでもないものかというそうではなく、1位は学内論文の最優秀賞獲得という宮川ゼミの功績であり、皆がハッピーな気持ちになれるニュースが選ばれました。来年は論文とストックリーグ、リサーチチャレンジでそれぞれ好成績を残して、トップ3を占めてほしいと思います。



次に流行語大賞、数あるノミネートから選ばれたのは、「いち宮川としての発言」でした。ゼミ生以外の方がこの記事をご覧になることがあるかもしれないので説明します。先生はたまたま教師としてふさわしくない(ように思われる)発言をなさることがありますが、それは教師宮川ではなく、いち宮川としての発言、というように用います。



出し物のコーナーでは、各学年の本気のパフォーマンスが繰り広げられました。中でもとりわけ凄かったのが1期生田邊了三だったように思います。彼はマツケンサンバを踊りました。本物とは全く似ても似つかぬ風貌ではありましたが、得意の顔面七変化に加え、小柄な体を野茂英雄のように目一杯使うことで、本物顔負けの表現力を発揮していました。

これらのコンテンツ、いかにも楽しそうに思いませんか？われらが宮川ゼミは勉強もさることながら遊びも本気です。

そして毎回素晴らしい会を企画してきたのはこれから就職活動を行う2期生であります。企業の人事の方でこの記事をご覧の方（いらっしゃらないと思いますが）、ぜひ彼らをよろしくお願いします。彼らは他の学生と比べ、企画も学業も献身さも遥かに優れています。企画してくれた2期生、非常にいい会になりました。ありがとう。



会の後は、バイトを外せず今回残念ながら参加できなかった、宮川ゼミの縁の下の黒光りこと2期生前田晃治のバイト先にチャチャ入れをし、幻想的なイルミネーションに彩られた御堂筋をあとにしました。